

木質バイオマスの実演

大学の緑を利用して CO₂ 削減を —木質バイオマスの循環利用—

趣旨 九州大学の伊都や箱崎キャンパスでの緑地管理から発生する支障木や剪定枝等を産廃処分するのではなく、チップパーでチップ化することで、木質チップボイラーの燃料として利用可能となり、重油などの化石燃料の使用量が削減され、それによって CO₂ の削減に貢献する。

この趣旨にしたがって、箱崎・伊都キャンパスで発生した、剪定枝や支障木の収集と同チップ化、木質チップボイラーを備えた温浴施設へのチップの運搬・投入を行い、木質バイオマスの循環利用の工程とともに CO₂ 削減に貢献できることを実体験する。作業の最後には、温浴施設の木質ボイラーを含む施設見学（希望者は入浴体験も可）を行う。

将来的には、大学を中心として地域全体を巻き込んだ本格的な取り組みを考えている。

ボランティア募集
見学のみも OK!!

企画スケジュール

- 5月16日（月）午前 チッパーの移送（早良実習場 → 箱崎キャンパス）
- 5月17日（火）午前 **箱崎キャンパス内の剪定枝等のチップ化作業（ダンプに積載）**
- 午後 ダンプの移送（箱崎キャンパス → 早良実習場）
- 5月18日（水）午前 **伊都キャンパス内の剪定枝やタケのチップ化デモンストレーション**
- チップ化後に 元気クラブ「伊都」に搬入するとともに同施設の見学**
- 5月20日（金）予備日

企画責任者 農学研究院 新キャンパス計画専門委員会委員 吉田 茂二郎

E-mail : syoshida@agr.kyushu-u.ac.jp Tel & Fax : 092-642-2865

企画協力

九大福岡演習林

九州大学企画部統合移転推進課

元気くらぶ伊都

集合時間場所等

17日10時

箱崎キャンパス旧工学部二号館中庭
（キャンパスマップ 青3番）

18日9時30分

伊都キャンテニスコート（クレー）付近
（キャンパスマップ 青34番）

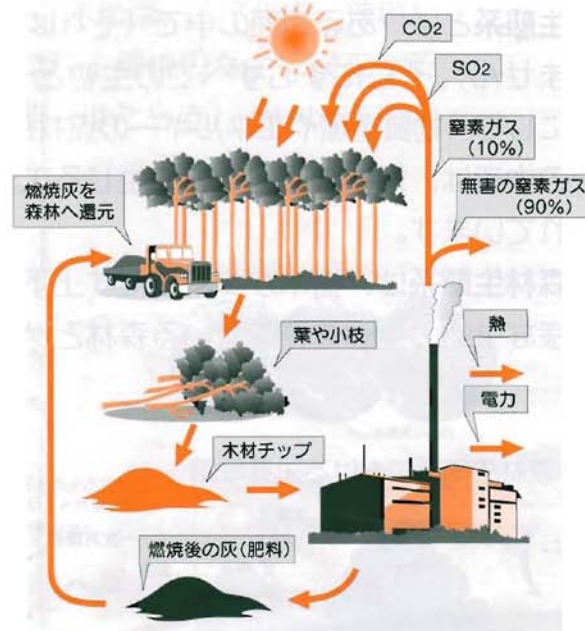


タケのチップ化作業

循環型社会を目指して

森林資源は再生可能で循環型社会に適した未来型資源です。化石燃料（石油、石炭、天然ガスなど）がなくなると考えると、森林資源の循環利用や流域生態圏における循環システム構築についての研究は、人類の生存に欠かせません。

スウェーデンで実用化されている木材のエネルギー利用



資料：スウェーデン国家エネルギー庁：This is Bioenergy！ 1998.3

(新)「環境と共生する未来型キャンパスの創造事業(構想)」

—大学と地域社会が一体となった地域環境の保全と循環型社会の形成を目指して—

